



落穂会だより

夏季号 2014.7

社会福祉法人 落穂会
鹿児島市皆与志町2503番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>

障害児入所施設 あさひが丘学園 (Tel 238-4821)
障害者支援施設 あさひが丘 (Tel 238-4821)
地域生活支援センター あさひが丘 (Tel 243-1112)
障害者支援施設 旭福祉センター (Tel 244-3551)
障害福祉サービス事業 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)
<http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/>



「ガーデンキッズストア開所」

管理者 水 流 かおる

平成二十六年四月一日、鹿児島市具服町の南星ビル二階に児童発達支援事業所「ガーデンキッズストア」を開所しました。マルヤガーデンズ三階にある「ガーデンキッズセルク」(平成二十四年七月開所)、児童発達支援センター「こどもサポートセンター我路」(平成二十四年十月開所)に続き、当法人三か所目の子どもたちの発達支援にかかわる事業所の誕生となりました。

「トリア」とはフランス語でLe Triangle(三角形)という意味で、セルクが「丸」を表す子どもを中心にさまざまな人の連携を願ったように、トリアには「いろいろな形があつてみんな違っていてもみんないいね。すてきだね」という思いが込められ、児童発達支援事業(定員10名・放課後等デイサービス(定員10名・日中一時支援事業(定員10名)の機能を持った多機能型事業所です。トリアでは未就学児童にはさまざまな遊びや体験を通して社会性やコミュニケーション、言語・認知・運動能力の向上が図れるよう臨床発達心理士・理学療法士・言語聴覚士の専門的機能を取り入れながら日々の療育支援を行っています。学齢児童には、就学前の療育支援の継続性を念頭に置いて、学校の中での困りごとについてのアプローチ等のサポートを行っています。

今後も児童発達に関わる三事業所が一体となりそれぞれの特徴やカラーを出し、楽しい遊びを通して子どもたちが育ちあえるようなプログラムを設定し、療育の質の向上と家族へのきめ細やかな支援を行っていききたいと思っています。また、保育所等訪問支援を活用し幼稚園や保育所・学校とも連携を図り、地域の方々へ事業所を利用している子どもたちへの理解の輪を広げていきたいと思っています。

新入所者紹介

◆あさひが丘学園 鳥越 大聖さん
みんなと仲良く元気に頑張ります。

◆あさひが丘 浦口 直樹さん
皆さんと仲良く過ごし、新しい環境に早く慣れていきたいです。

外園 海斗さん
大好きな音楽や活動を頑張り、元気で健康に過ごしたいです。

三原 康寛さん
明るく、元気に楽しく過ごしたいです。

折田 悠真さん
今まで同様、楽しい園生活にしたいです。宜しくお願いします。

◆グループホーム あさひが丘 片野 優作さん
とんぼ丸で身の回りの事をできるように頑張ります。あすもねの作業も頑張ります。

追田 祥隆さん
自分のことは自分でできるように頑張りたいです。

春山 貴彦さん
グループホームの生活を楽しくしながら、学園の作業も頑張りたいです。

前田 崇志さん
とんぼ丸での新生活にワクワクしています。皆さん、よろしく。

退所者

松元 俊治さん
自分で出来ることを増やして、グループホームの生活をしてみたいです。

古城 仁さん
グループホームの生活と学園の作業を頑張ります。

増田 善行さん
グループホームの生活に早く慣れて、学園の作業も頑張りたいです。

山元 慎治さん
新しいグループホームの生活をします。学園の作業も頑張りたいです。

◆旭福祉センター 中野 幸輔さん
僕は、作業を一生懸命がんばりたいです。

新通所者紹介

◆あさひが丘 通所部 原 貴俊さん
入浴とビデオ視聴が大好きです。よろしくお願います。

桑原 和也さん
たくさん食べて、体を動かすのが大好きです。みんななかよくしてね。

◆地域生活支援センター 橋口 俊輔さん
あすもねのなかまと、作業をがんばります。

新任職員紹介

◆あさひが丘学園 片野 優作さん(グループホーム とんぼ丸)
追田 祥隆さん(グループホーム とんぼ丸)
春山 貴彦さん(グループホーム とんぼ丸)
前田 崇志さん(グループホーム とんぼ丸)

◆あさひが丘 松元 俊治さん(グループホーム とんぼ丸)
古城 仁さん(グループホーム とんぼ丸)
増田 善行さん(グループホーム とんぼ丸)
山元 慎治さん(グループホーム とんぼ丸)

◆ガーデンキッズストア 津曲 涼子 保育士
一日一日を大切に笑顔で一生懸命、頑張りたいと思います。

前田 貴子 支援員
毎日、元気な子ども達と活動ができて嬉しく思います。どうぞよろしくお願います。

◆地域生活支援センター 福満 美幸 支援員
子供たちの笑顔がたくさん見える様、支援を頑張ります。

追田 邦子 事務員
皆さんの笑顔が見られるように、自らも笑顔でがんばります。

◆旭福祉センター 井澤 裕子 支援員
笑顔忘れずに、日々成長していけるよう、頑張ります。

編集後記

六月に入ってからラジオでクールビズを行っている企業が増えていくと目にはしませんでした。エコ意識と増税に伴い、少しでも経費削減をしようという対策でしょうか。これからの夏本番、暑さと増税のダブルパンチですが、たまには自然の風にあたりながら心身と懐を豊かにしたいと思う今日この頃です。(T)

ベーカリー店内にあさひが丘学園のWelcome地裁などの雑貨販売が決定!!!



ベーカリー楓の店内一部において、あさひが丘学園の雑貨を販売することになりました。Welcome地裁や種類豊富な「ハウス型」や「ポット」など、ベーカリー楓の店内により一層華をそえてくれるでしょう。パンを買うだけでなく、雑貨にも目を向けてみてはいかがでしょうか?!

障害児支援の在り方に関する検討会について①

あさひが丘学園統括施設長 水流純大

平成二十六年一月、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長のもとに「障害児支援の在り方に関する検討会」が設けられた。この検討会は「平成二十四年四月施行の児童福祉法改正等により、障害児支援の体系の再編・一元化が行われた。その施行状況等を検証した上で、子ども・子育て支援法の施行も踏まえた今後の障害児支援の在り方について、有識者、関係者の参集を得て検討を行う」とのものとされ、平成二十六年七月を目途に報告書がまとめられ、社会保障審議会障害者部会に提出されるとともに、この報告書の内容が平成二十七年四月に行われる報酬改定や障害者総合支援法施行三年後の制度見直しに伴う障害児施策への制度改革に反映させることが予定されている。

放課後等デイサービスの法定化、児童デイサービスと障害児通園施設を児童発達支援に一本化して児童福祉法に位置づけたこと、地域自立支援協議会への子ども部会の設置、通所支援の実施主体の市町村への権限移譲、入所施設の在所期間延長規定の廃止など、検討会報告書に盛り込まれた内容が平成二十四年四月に施行された改正児童福祉法に数多く反映された。これらのことを考えると、今回の検討会における議論が今後の障害児施策の方向性に大きな影響を与えることは間違いないといえる。

検討会では以下の論点に沿って検討が行われている。

一、障害児支援の基本理念

障害児支援を今後進めるに当たっての基本的考え方、重点を置くべき事項等についてどのように考えるか。

二、論点(支援類型別)

(一) 児童発達支援センターの役割(地域支援機能の在り方、他分野も含めた関係機関との連携等)

(二) 児童発達支援センターが担う役割をどのように考えるか

②①を踏まえて、指定基準や関連通知等においてどのように位置づけるか(人員、設備等)

(二) その他の障害児通所支援の在り方

(三) 障害児入所支援の在り方

三、論点(トピック別)

(一) 早期発見・早期療育を進めるためにどのような方策があるか

(二) 保育・教育との連携をどのように進めるか

(三) 重症心身障害児の支援の在り方についてどのように考えるか

(四) 発達障害児の支援の在り方についてどのように考えるか

(五) 障害児のいる家族の支援の在り方についてどのように考えるか

以上のような論点について検討会がこれまで六回開催(平成二十六年五月末日現在)されており、特に第三回〜五回については十九の関係団体からのヒヤリングが行われた。筆者も公益財団法人日本知的障害者福祉協会の代表として、児童発達支援副部長(当時)の米川氏とともにヒヤリングに出席し、わずかな時間ではあったが障害児入所支援の今後の方向性についての意見を述べた。今後の障害児入所施設は、単に入所支援だけを行うのではなく、地域支援機能を明確に位置づけることにより、障害児及びその家族を支援する地域における拠点施設としての機能を持つべきであること。また、中核機能である入所支援は、本体施設を小規模化するともに、障害児グループホームの創設による地域分散化やファミリーホーム・里親等への家庭養護への支援を併せて行う機能を持つこと。さらに、障害児施策から障害者施策へのスムーズな移行を進めるために市町村を交えた自立支援システムを構築することなどが主な意見の概要である。

本号が発行される頃がちょうど検討会報告書が出される時期と重なるが、障害児支援の今後の方向性を左右する重要な報告となることからその内容を把握し、制度への反映を注視していく必要がある。

◆ 行事報告 ◆

- 5月18日(日) 第8回障害者スポーツ大会
ふれあいスポーツランドと鴨池陸上競技場で第8回障害者スポーツ大会が行われました。あさひが丘学園と地域生活支援センターから13名の利用者がフライングディスクと陸上競技に参加しました。
- 5月22日(木) 合同保護者会(歩路・セルク・トリア)
地域生活支援センターで歩路・セルク・トリアの合同保護者会が行われました。33名(歩路17名、セルク7名、トリア7名)の保護者が参加、ビデオにて職員と事業所の紹介を行ないました。その後の茶話会では楽しい会話が弾みました。
- 5月24日(土) ボランティア
ノゾリ建設の方々がボランティアで木の伐採と側溝掃除の砂あげ作業をしてくださいました。木の伐採など、クレーンを使用し手際よく作業が進みました。日頃、できない難しい作業だったので助かりました。ありがとうございました。
- 5月25日(日) 保護者会総会
あさひが丘学園で保護者会総会が行われました。48名の保護者が参加しました。平成25年度事業報告及び決算報告、役員改選などがありました。会の一番最後には、入所利用者の生活の様子をDVDで視聴してもらいました。
- 5月29日(木) 避難訓練
地域生活支援センターで避難訓練を行いました。児童発達支援を利用している子ども達に参加し、ハンカチを口に当てて上手に避難することができていました。
- 6月1日(日) グループホームへ引っ越し
グループホームとんぼ丸(男性入居者8名)が開所しました。あさひが丘から4名、あさひが丘学園から4名の方が新しいグループホームでの生活を開始しました。
- 6月7日(土) 歩路、セルク、トリア合同保護者懇親会(父の部)
歩路・セルク・トリア合同保護者懇親会が行われました。8名の保護者(歩路6名、セルク1名、トリア1名)が参加されました。日頃の自宅での様子など、和やかな雰囲気の中でお父様方と親睦を深めることができました。
- 6月11日(水) バイクン誕生会
あさひが丘学園で、バイクン誕生会が行われました。92名の利用者が参加、前後半に分かれて、ゆっくりとバイクンを楽しみました。
- 6月14日(土) 日中活動参観(あさひが丘、あすもね)
あさひが丘、地域生活支援センターで日中活動参観が行われました。あさひが丘には、32家族36名が参加しました。あすもねには、7家族7名が参加し活動の様子をみてもらいました。活動終了後は、日中活動ごととにわかれて、職員と保護者での懇談会が行われました。

- 4月2日(水) 歩路開級式・保護者会
地域生活支援センターで、歩路の開級式と保護者会がありました。利用者27名、保護者27名が参加していました。
- 4月2日(水) トリア開所式
児童発達支援事業ガーデンキッズトリアが呉服町に開所しました。利用者14名と保護者が参加しました。
- 4月13日(日) 落穂会・ゆうかりふれあいバザー
ゆうかり学園で落穂会・ゆうかりふれあいバザーを行いました。当日は雨天でしたが、総勢765名とたくさんの来場者がありました。旭福祉センターでは、花苗や野菜、菓子、陶芸品などを販売しました。あさひが丘からも陶芸品やネームボード、花苗など出店し多くの来場者があり、にぎわいました。
- 4月20日(日) 保護者ボランティア
あさひが丘学園で保護者ボランティアがありました。保護者25名、職員17名が参加し、日中活動の小物などの創作品を制作しました。ボランティア後は懇談会を実施し、自己紹介や意見交換を行ないました。
- 4月26日(土) 知的障害関係親善球技大会
桜島溶岩グラウンド、体育館で知的障害関係親善球技大会が行われました。あさひが丘学園、地域生活支援センターからは、ソフトボール14名、グラウンドゴルフに2チーム10名の利用者が参加しました。旭福祉センターからは、バレーボールに参加しました。選手たちは大会前から練習に励み、試合に向け頑張っていました。両施設、入賞はなりませでしたが、楽しく参加することができました。
- 4月27日(日) 吉野兵六ゆめまつり
あさひが丘より、吉野公園で行われた兵六ゆめまつりに出店しました。たくさんの来場者があり、花苗や陶芸品、手芸品などを販売も好評でした。
- 5月10日(土) バーベキュー大会
旭福祉センターで、バーベキュー大会が行われました。天候に恵まれ、利用者・職員計82名の参加となりました。それぞれのグループでお肉や野菜を焼き、美味しく食事を行いました。
- 5月11日(日) 農林水産春祭り
あさひが丘より、都市農業センターの農林水産春祭りに出店しました。創作品や花苗を中心に販売しました。たくさんのご来場ありがとうございました。
- 5月16日 グループホーム スプリングラー設置
地域生活支援センター5棟のグループホームに鹿児島市の補助を受け、スプリングラーの設置が完了しました。日頃から避難訓練などを通して、利用者の方々に防火意識の向上に努めていきたいと思います。
- 5月17日(土) バーベキュー誕生会
あさひが丘学園でバーベキュー誕生会が行われました。利用者110名、職員50名が参加し、園庭でコンロを囲みバーベキューを楽しみました。

五
月

六
月

四
月

五
月



すなつぶスナツプ



「休日」

旭福祉センター 利用者
中原 温子



休みの日は、家でパソコンでお笑いをみるか、友達とカラオケに行っています。AKB48としゅうちしの歌を唄います。

パソコンでは、お笑いのコントをみています。

月に一度日曜学校の活動に参加して大学生の人達と一緒に活動します。色々たくさんの人達と知り合いになれとても楽しいです。活動は鹿大であります。

今度八月に二泊三日でキャンプが計画されているので参加したいです。今から楽しみで早く、八月にならないかと思えます。



「笑顔」

あさひが丘学園 保護者
外 蘭 雪 江

私は、海斗の笑顔が大好きです。目が細くなって、ニーツと笑う海斗を見てると幸せを感じます。

海斗を産んですぐ、新生児室のガラス越しに見た海斗は、周りの赤ちゃんがスヤスヤ眠っている中で、ひとりだけ顔を真っ赤にして泣いていました。家に帰ってからも、昼夜を問わずよく泣く子でした。

「赤ちゃんは泣くのが仕事」だとか「よく泣くのは元気な証拠」と言われても、新米ママの私は不安で仕方ありませんでした。どうにかして海斗と一緒に笑って過ごす事はできないかな？ 試行錯誤の末、歌うと海斗が喜ぶと気付きました。それから、一日中歌っていました。中でもお気に入りだったのは「アンパンマン体操」

「もし自信を無くしてくじけそうになったら、いい事だけいい事だけ思い出せ・・・」

この歌を歌いながら、笑っている海斗を見てると「僕は大丈夫だよ」と言われているような気がしていました。

高校生になっても、「アンパンマン」や「お母さんと一緒に」が大好き

な海斗が入所する時は、歌ってあげられない。笑顔がなくなってしまうのではないかと心が痛かったのを覚えています。でも秋の運動会の日、傍を通った先生にむかって「アイアイ」と満面の笑みを浮かべていました。きつといつも「アイアイ」を歌ってもらっているのでしょうか。心から安堵しました。

海斗、これからもあなたたがいつも笑顔でいられますように。今度のお出かけは、カラオケに行こうね。

「道」



地域生活支援センター 職員
精 松 泰 輔

今回、落穂会便りに文章を寄稿することになり、何を書くか迷いましたが、ふと「道」のことを思いついたので書いてみようと思います。思えば、あさひが丘学園に入った当初は、近道はないかな？と周辺の道を走り回ったものです。意外なところにつながついて「近道発見！」と思ったり、気づくと車一台が通るのにぎりぎりの幅の道に入り、たどり着いたのは山の中。冷や汗をかきながら何とか元の道へ戻ろうとしたこともありました。その頃、自分が方向音痴だという事に遅まきながら気付きました。ドライブ自体は好きなきこともあり、その後も色々なとこ

ろを探検しました。趣味が釣りという事もあり、それに合わせて行動範囲も広がり、鹿児島県内をうろろうろしてしまっていました。知らない道を通るということは、楽しさがいっぱいです。すぐに迷って変なところに行ったりもしましたが、面白い物をたくさん見ることができました。

例えば、一年に一度のお祭りの日にたまたま通りがかつたり、名前しか知らなかった観光地の看板を見つけ、行って見たらきれいな景色が待っていたり。枕崎に行き初めの頃は、九州縦貫道がそれこそ建設中で、一部開通した時は「行ける！」と迷わず進み、昔通っていた道を見ながら「今まであそこを通っていたんだな」と感慨深くなったものです。

知らない道を通る上でいつも思うのは、きつとどこかにつながついているんだらうなあとということ。ぐるぐると細い道を抜け、想像とは反対の方向に出ても「ここにつながるんだ」と納得したり不思議に思ったり。例えわからなくても、次来た時は分かる場所になります。それは、今の仕事に通じる部分があると思えます。

経験したから分かる、分からないこともやってみればどうなるか分かる。ドライブと違って適当にという訳にはいきませんが、経験したことをもとに、これからは新しいことにチャレンジしていけるように励んでいきたいと思えます。

今回は、地域生活支援センターあさひが丘の「就労継続支援B型フックシヨップあすもね」にスポットです。あすもねで取り組んでいる仕事の紹介や日頃の作業の様子をインタビューしました。



○公園清掃業務委託

鹿児島市より委託を受けて、週に一度伊敷ニュータウンおとめ座公園の清掃作業を行なっています。

年に三回、清掃の他に公園内の草刈、側溝の清掃も行ないます。

暑い日も、寒い日もありますが、地域の方からの「ありがとう」が、あすもねのみなさんはうれしいようです。先日、草刈清掃を行ないました。きれいな公園内を見て、みなさん大きな達成感を得たようでした。

○飲料水配送準備

自動販売機や各施設の売店などで販売される飲料水の配送の準備を企業と契約して週に3日実施していま

す。段ボールに入ったたくさん飲料水を決められた車両ごとに分けて積み込みをしています。重たいものを運びますので、大変、力のいる作業です。

○内職作業

内職作業といっても種類はとても多いものです。贈答用のタオルを折る作業や、菓子箱を折り込む作業、広告やチラシを入れていく作業に和菓子のラッピングまで・・・

その中でもあすもねでは「菓子箱を折り込む」工程が多いです。

商品を入れる箱です。傷や余計な折り目が入ると不良品になってしまいます。

依頼を受けて、作業を開始すると黙々と作業に打ち込みます。さまざまなプレッシャーもあるのかもしれませんが・・・

○資源ごみ回収

毎週、水曜日にタイヨー吉田店で資源ごみの回収作業を行なっています。

資源ごみ回収を始めてからもう一年が過ぎました。最初は興味を示さなかつたお客様がほとんどでしたが、いまですっかり常連のお客様もいらつやいます。

挨拶や何気ない会話を通して、地域の方たちのふれあえる時間をととても楽しみにしています。

あすもねのみなさんに少しだけインタビュー

数名の方に話を聞いてみました。(太田さん、内屋さん、今村光良さん、松木場さん、富山さん、今村マユミさん)



○今、何の仕事をしていますか？

太田・・・「わらびもちのラッピングです。」

内屋・・・「お菓子の箱を折っています。」

今村マユミ・・・「このお菓子この前食べたいよ」

・難しいですか？

太田・・・「難しい・・・でも楽しい」

内屋・・・「指が痛くなる・・・」

今村マユミ・・・「肩がこります・・・」

○あすもねの仕事で好きな仕事はなんですか

今村光良・・・「パブリシ」(飲料水の配送準備作業)

松木場・・・「めく、バンドを切る」

富山・・・「エコプラザ。ごみを持ってくるよ」

・好きな仕事の話は笑顔で話して



さんぽみち